

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期岩手町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県岩手郡岩手町

3 地域再生計画の区域

岩手県岩手郡岩手町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1980年の20,350人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年12月末日現在には11,192人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が5,464人となる見込である。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1980年の4,980人をピークに減少し、2050年には299人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の1,971人から2050年には3,135人と増加傾向にあり、少子高齢化がさらに進むことが予想されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1980年の13,399人をピークに減少傾向にあり、2050年には2,030人と予想されている。

自然動態をみると、出生数は2004年の128人をピークに減少し、2022年には64人となっている。その一方で、死亡数は2022年には213人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲149人（自然減）となっている。

社会動態をみると、雇用先及び住居が少ないことが大きな要因となり、若い世代を中心に町外への転出者が増加し、転出数が転入数を上回っている状態が続いており、2022年には▲67人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な

影響が懸念される。

これらの課題がある中で、持続可能な地域を実現するため、「シビックプライド」、「ブランディング」、「SDGsの取組」の3つの観点に取組を進める。

岩手町に関わる様々な人々や企業などが協力して町の資源を磨き上げ、岩手町ブランドを育てながら、地域外から資源、知見・技術、人材を呼び込む「選ばれるまち」を目指す。そして、国内外の地域とつながり、共創していくことで、ブランド価値や住民のシビックプライドもさらに高まる好循環を創出する。また、この好循環が活性化するよう、地域の未来を共創する人材を育成する環境を整備する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 活力ある地域経済の確立
- ・基本目標2 未来を担う人材の育成と誘致
- ・基本目標3 生き生きと暮らせるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業産出額/年	138.8億円	140.0億円	基本目標1
ア	スマート農業実施経営体 数/累計	24経営体	30経営体	基本目標1
ア	新規就農者数/年	5経営体	10経営体	基本目標1
ア	林業総生産額/年	5.4億円	5.5億円	基本目標1
ア	町内総生産額/年	406.5億円	415.0億円	基本目標1
ア	新たな商品開発件数/累 計	20件	30件	基本目標1
ア	ガバメントクラウドファ ンディングにより実施す	0件	3件	基本目標1

	る事業数／累計			
ア	企業版ふるさと納税寄附 企業数／累計	8社	60社	基本目標1
ア	起業・創業者数／累計	14者・社	30者・社	基本目標1
ア	誘致した起業・創業希望 者数／累計	0者・社	3者・社	基本目標1
ア	フューチャーセンター使 用者数／累計	1,325人	15,000人	基本目標1
イ	地元高校入学者数／年	21人	30人	基本目標2
イ	将来の夢や目標を持って いる児童生徒の割合／年	小 82.0% 中 63.0%	小 85.0% 中 70.0%	基本目標2
イ	姉妹都市提携都市数／累 計	0都市	1都市	基本目標2
イ	おためし地域おこし協力 隊制度・地域おこし協力 隊インターン制度による 協力隊着任者数／累計	0人	15人	基本目標2
イ	移住相談による移住者数 ／年	11人	15人	基本目標2
ウ	子育ての環境や支援への 満足度	17.1%	27.7%	基本目標3
ウ	子育てをする上で、気軽 に相談できる人・場所が「 いない・ない」と答える保 護者の割合	3.7%	0.0%	基本目標3
ウ	総合運動公園内施設の利 用者数／年	65,770人	69,000人	基本目標3
ウ	石神の丘美術館入館者／ 年	20,900人	30,000人	基本目標3

ウ	クアオルト健康ウォーキング参加者/年	60人	120人	基本目標 3
ウ	空き家率（空き家数/世帯数）/年	10.2%	10.2%	基本目標 3
ウ	1人一日あたりのごみ排出量/年	655.0 g	643.0 g	基本目標 3
ウ	資源ごみの割合/年	19.1%	21.0%	基本目標 3
ウ	廃棄物の中間処理施設への排出量/年	3,298.0 t	3,100.0t	基本目標 3
ウ	J-クレジット販売量/年	0.0 t-CO2	5.0 t-CO2	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 とおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期岩手町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 活力ある地域経済の確立事業

イ 未来を担う人材の育成と誘致事業

ウ 生き生きと暮らせるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 活力ある地域経済の確立事業

人的、経済的ネットワークを活用した、町外の起業検討者や学生などの誘致により、新たなビジネスや地域活動の創出と支援するとともに、起業の挑戦者の増加とそこから生まれたプログラムの継続的に支援する。

また、地域資源を生かし、地場製品のブランディングや販路拡大、新た

な地域資源の創出を図ることにより、自立する地域経済を構築する事業。

【具体的な事業】

- ・ 起業家誘致プログラムの実施
- ・ 地場産品の販路拡大及びブランディング支援
- ・ 既存の地域資源を活用した、新たな地域資源創出
- ・ 起業チャレンジの支援 等

イ 未来を担う人材の育成と誘致事業

都市部を中心とする他地域の若者や子育て世代などから「選ばれるまち」となることを目指し、移住しやすい環境や地域の受入体制の整備、また、未来を担う人材の育成や関係人口及び交流人口の拡大を図ることにより、持続可能なまちづくりを実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 自ら探求する教育プログラムの推進
- ・ 姉妹都市提携
- ・ 地域おこし協力隊、地域活性化起業人の任用
- ・ 移住者を受け入れる体制の整備 等

ウ 生き生きと暮らせるまちづくり事業

年齢を重ねることに不安を感じない仕組を構築し、また、持続可能な地域のため環境保全を図る事業。

【具体的な事業】

- ・ 協働のまちづくりの推進
- ・ 安心して子育てができる、ライフステージに対応した支援
- ・ ごみの排出を抑制、リサイクルや資源循環の推進
- ・ 自然環境保全の推進 等

※なお、詳細は岩手町第3期人口ビジョンまち・ひと・しごと総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者により構成する岩手町総合計画審議会において、各事業の効果検証を行い、評価に応じた必要な見直しを図る。検証後速やかに町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から2031年3月31日まで